



2022春リーグ開幕！ チームTSUKUBA始動



写真:松尾/アフロススポーツ



TOPICS

- 【スキーオリエンテーリング】佐野響 世界選手権出場
- 【硬式庭球】阿部宏美 ITFツアー初優勝&3タイトル獲得
- 【競泳】日本代表選考会 込山瞳 50m自由形優勝
- 【陸上競技】日本室内選手権 三浦由奈 60m準V
- 【体操競技】全日本個人総合6位 深沢こころ (体育3)
- 【女子バレー】黒鷲旗全日本選抜大会で躍進 ベスト8
- 【インタビュー】目指せ!クリケット女子日本代表
- 【活動報告】「TSA-ADアワード2021」を開催



【ラグビー部】3年ぶり開催の東日本大学セブンズ大会準優勝

【アーチェリー】

関東学生アーチェリーリーグ戦

リカーブ未登録男子の部
出場者:西森亮太(応理4)、丸橋春介(資源4)、野村 遥(資源2)、高見勇楽(物理2)、三上陽彦(人文2)

【オリエンテーリング】

日本学生オリエンテーリング選手権大会※

<ミドルディスタンス競技部門>

男子選手権の部

永山 遼真(体育3) 39'30" 第6位

女子選手権の部

樋口 佳奈(資源1) 52'44" 第7位

*新人特別表彰

<リレー競技部門>

男子選手権の部

筑波大[菅波 崇志(資源3)、祖父江 有祐(地球3)、永山 遼真(体育3)]

2:59'36" 第4位 *14年ぶり男子入賞

*筑波大学が山川杯獲得(直近3年間のインカレメダル獲得総数最多校)



第11回全日本スキーオリエンテーリング選手権大会※

佐野 響(M2) 女子スプリント(優勝)、女子バシュート(優勝)

世界学生スキーオリエンテーリング選手権※

佐野 響(M2) 女子スプリント32位、女子ミドルマスタート26位、国別対抗混合スプリントリレー 14位

スキーオリエンテーリング世界選手権※

佐野 響(M2) 女子スプリント36位、女子バシュート32位、女子ミドル36位、国別対抗スプリントリレー 12位

【弓道】

第30回関東学生弓道選手権春季トーナメント大会

<決勝>男子団体 (優勝)

女子団体 準優勝

よって、男女共に全国大学弓道選抜大会出場決定

<個人戦・決勝>

男子 稲葉 侑真(体育1) (優勝)

後藤 大賀(体育2) 第7位

小坂 麻嘉(体育4) 第8位

女子 高田 実怜(体育4) 第3位

小川 貴子(体育2) 決勝進出

【硬式野球】

首都大学野球春季リーグ戦(1部)

- 筑波大2-5○東海大
- 筑波大0-3○武蔵大
- 筑波大0-3○武蔵大
- 筑波大0-4○東海大
- 筑波大1-2○日本体育大
- 筑波大2-4○日本体育大
- 筑波大4-5○帝京大

現在、0勝7敗

【硬式庭球】

ITFワールドテニスツアー「W15 Sharm El Sheikh」※

阿部 宏美(体育3)

<week1>女子単 (優勝) *ITFツアー初優勝!

<week2>女子単 ベスト4、女子複 (優勝)

*国際大会ダブルス初優勝

<week3>女子単 1回戦敗退、

女子複 1回戦敗退

<week4>女子単 ベスト8、

女子複 (優勝)



ダブルスを組んだ
リー・ペイチェー選手(台湾)と阿部(右)。

【男子サッカー】

第96回関東大学サッカーリーグ戦(1部)

△筑波大0-0△早稲田大

●筑波大1-3○東京国際大

△筑波大0-0△国士館大

○筑波大2-1●拓殖大

現在、1勝1敗2分、7位(12校中)

第25回茨城県サッカー選手権大会 兼 天皇

杯茨城県代表決定戦

1回戦 ○筑波大2-0●アイデンティみらい

準決勝 ○筑波大5-0●ジョイフル本田つくばFC

よって、決勝進出 [vs流経大ドラゴンズ(鹿嶋)]

【女子サッカー】

第28回関東女子サッカーリーグ1部前期

●筑波大0-3○神奈川大

●筑波大0-3○SEISA OSA レイア湘南FC

●筑波大0-4○東洋大

現在、0勝3敗0分、8位

第36回関東大学女子サッカーリーグ戦(1部)

●筑波大2-3○東京国際大

●筑波大0-3○東洋大

現在、0勝2敗0分、10位(12校中)

【柔道】

2022グランドスラム・パリ ※

男子66kg級

田中 龍馬(体育2)

第3位

関東柔道選手権/関東女子柔道選手権※

男子 千野根 有我(体育3)

3位

関根 聖隆(体育4)

5位

女子 米川 明穂(体育2)

準優勝

都留 麻瑞(体育4)

第5位

能智 亜衣美(M1)

第5位

※上記選手が全日本柔道選手権、全日本女

子柔道選手権の出場権獲得

全日本学生柔道Winter Challenge Tournament※

男子

60kg級福田 大晟(体育2)

第5位

成島 荘一朗(体育3)

2回戦敗退

66kg級松本 航介(体育2)

2回戦敗退

73kg級齋藤 五澤 航介(体育3)

準優勝

旭 征哉(体育2)

2回戦敗退

81kg級夏目 湧太(体育3)

4回戦敗退

全日本選抜柔道体重別選手権大会

男子

66kg級田中 龍馬(体育3)

第3位

81kg級佐々木 健志(M2)

第3位

第37回皇后盃全日本女子柔道選手権大会

女子無差別級

能智 亜衣美(M2)

3回戦敗退

米川 明穂(体育3)

2回戦敗退

全日本柔道選手権大会

男子無差別級

千野根 有我(体育4) 3回戦敗退

【準硬式野球】

第64回関東地区大学選手権大会※

1回戦 ●筑波大1-4○早稲田大

よって、1回戦敗退

東都大学準硬式連盟春季リーグ戦(2部)

●筑波大1-5○國學院大

○筑波大5-3○駒澤大

●筑波大3-5○日本体育大

●筑波大1-3○青山学院大

○筑波大8-2●学習院大

△筑波大3-3△青山学院大

現在、2勝3敗1分

【水泳(競泳)】

国際大会日本代表選手選考会 ※

男子

50m平泳ぎ

小島 健太郎(体育3) 27'71" 第6位

50m背泳ぎ

三浦 玲央(体育2) 25'80" 第6位

200mバタフライ

小林 拓(体育3) 1'59'75" 第6位

女子

50m自由形

込山 瞳(体育3) 25'41" (優勝)

*ワールドユニバーシティゲームズ代表選出

100mバタフライ

飯塚 千通(体育3) 58'40" 第3位

第98回日本選手権水泳競技大会

男子

50m自由形

岩崎 世那(体育3) 23'12" B決勝5位

50m背泳ぎ

三浦 玲央(体育3) 26'15" B決勝3位

50m平泳ぎ

小島 健太郎(体育4) 28'26" B決勝3位

200m平泳ぎ

徳淵 凜(体育3) 2'17'10B決勝8位

200mバタフライ

小林 拓(体育4) 1'59'82B決勝4位

女子

50m自由形

込山 瞳(体育4) 25'65" 決勝6位

50m背泳ぎ

片桐 珠実(体育3) 29'35" B決勝5位

50m平泳ぎ

賀部 寿音(体育2) 33'60" B決勝8位

100mバタフライ

飯塚 千通(体育4) 58'80" 決勝3位

【スキー】

第95回全日本学生スキー選手権大会 ※

男子3部

金谷 光晟(体育4) 第10位

大回転 矢崎 航(応理2) 第19位

萩原 宏太(エシス4) 第29位

回転 金谷 光晟(体育4) 第12位

矢崎 航(応理2) 第19位

萩原 宏太(エシス4) 第22位

学校対抗 筑波大 第10位

【女子ソフトボール】

第17回関東学生女子春季リーグ戦(2部)

○筑波大10-2●新潟学短期大※コールド

○筑波大9-2 ●文教大 ※コールド
現在、2勝0敗

【体操競技】

天皇杯 第76回全日本体操個人総合選手権

男子個人総合			
橋 汐芽 (体育4)	166.764	第13位	
長崎 椋人 (体育4)	161.430	第26位	
女子個人総合			
深沢 こころ (体育3)	103.031	第6位	
芹田 未果子 (体育1)	101.931	第12位	
男子決勝/あん馬			
長崎 椋人 (体育4)	14.800	第1位	
男子決勝/ゆか			
平松 航河 (体育2)	14.266	第6位	

【卓球】

2022 LION CUP TOP32 ※

女子シングルス		
中田 玲奈 (体育3)	ベスト16	

関東学生卓球新人選手権大会

男子シングルス		
鈴木 笙 (体育1)	第3位	
三浦 裕大 (体育1)	ベスト8	
田原 翔太 (体育1)	ベスト16	
男子ダブルス		
松本 光史・田原 翔太 (体育2/体育1)	ベスト16	
鈴木 笙・三浦 裕大 (体育1/体育1)	ベスト16	

【男子バスケットボール】

第61回関東大学バスケットボール新人戦

3回戦	○筑波大20-0 ●駒澤大
4回戦	○筑波大78-73 ●日本大
準決勝	○筑波大20-0 ●専修大
決勝	●筑波大55-68 ○大東文化大
最終結果:準優勝	
優秀選手賞:小川 敦也 (体育1)	

【バドミントン】

関東学生バドミントン新人選手権大会 ※

Aブロック男子シングルス		
永刈 雄大 (体育1)	ベスト8	
高橋 一将 (体育2)	ベスト16	
Aブロック男子ダブルス		
藤澤 佳史・永刈 雄大 (体育2/体育1)	準優勝	
Aブロック女子シングルス		
栗原 あかり (体育2)	第3位	
染谷 菜々美 (体育2)	ベスト8	
Aブロック女子ダブルス		
青木 もえ・長廻 真知 (体育1/体育1)	準優勝	
Bブロック女子シングルス		
矢島 春菜 (体育2)	優勝	
池田 恵美 (化学1)	ベスト16	

【男子バレーボール】

春季関東大学男子1部リーグ戦

○筑波大3-0 ●桜美林大	
○筑波大3-2 ●東海大	
○筑波大2-3 ○慶應義塾大	
○筑波大3-1 ●東京学芸大	
現在、3勝1敗	

【女子バレーボール】

春季関東大学女子1部リーグ戦

○筑波大3-0 ●桜美林大	
○筑波大3-1 ●東京女子体育大	
○筑波大3-1 ●松蔭大	
○筑波大3-0 ●日本女子体育大	
○筑波大3-0 ●嘉悦大	
○筑波大3-0 ●大東文化大	
現在、6勝0敗	

第70回黒鷲旗全日本男女選抜大会

●筑波大1-2 ○NECレッドロケッツ	
○筑波大2-1 ●日立Astemoリヴァーレ	
○筑波大2-0 ●ヴィクトリーナ姫路	
よって、決勝トーナメント進出	
準々決勝 ●筑波大1-3 ○東海大	
よって、ベスト8	

【男子ハンドボール】

関東学生連盟春季リーグ戦 (1部)

○筑波大32-25 ●東海大	
○筑波大34-30 ●法政大	
○筑波大28-22 ●早稲田大	
○筑波大24-22 ●順天堂大	
○筑波大37-30 ●明治大	
現在、5勝0敗、2位 (10校中)	



【女子ハンドボール】

関東学生連盟春季リーグ戦 (1部)

○筑波大35-21 ●早稲田大	
○筑波大32-28 ●桐蔭横浜大	
○筑波大32-22 ●日本女子体育大	
○筑波大31-30 ●国士舘大	
●筑波大-0 ●東海大 ※不戦敗	
●筑波大-0 ●東京女子体育大 ※不戦敗	
現在、4勝2敗、4位 (8校中)	

【フィールドホッケー】

関東学生ホッケー春季リーグ (3部)

○筑波大1-0 ●成城大	
○筑波大1-0 ●専修大	
現在、2勝0敗	

【ラグビー】

第23回東日本大学セブンズラグビー大会

1回戦	○筑波大33-19 ●東海大
準決勝	○筑波大24-19 ●流通経済大
決勝	●筑波大17-21 ○明治大
よって、準優勝	

関東大学春季大会<8グループ>

△筑波大31-31 △慶應義塾大	
○筑波大54-5 ●日本体育大	
現在、1勝0敗1分	

【女子ラクロス】

2022年女子国公立戦

1回戦	
●[筑波大+茨城大] 6-14 ○[千葉大+横浜国立大]	

【陸上競技】

第2回全国招待大学対校男女混合駅伝 ※

筑波大学 1:02'54"	第8位
<区間成績>	
1区 3km:	
平山 大雅 (体育2) 8'29"	区間10位
2区 2km:	
澤井 柚葉 (体育2) 6'23"	区間3位
3区 5km:	
杉山 魁声 (体育4) 14'48"	区間4位
4区 3km:	

櫻原 沙紀 (体育2) 9'51"	区間3位
5区 2km:	
井内 優輔 (体育4) 5'37"	区間8位
6区 5km:	
本庄 悠紀奈 (体育3) 17'46"	区間15位



第105回日本陸上競技選手権・室内競技 ※

男子60mH		
久保田 太一 (体育3) 7"90	B決勝 4着	
女子60m		
三浦 由奈 (体育2) 7"44	2位	
景山 咲穂 (体育2) 7"63	8位	
女子棒高跳		
塩崎 泉 (体育3) 3m70	10位	

第25回日本学生ハーフマラソン選手権 ※

男子ハーフマラソン		
福谷 颯太 (体育3) 64'00"	54位	
國井 辰磨 (体育3) 64'47"	99位	

2022日本学生陸上競技個人選手権大会

男子		
800m	薄田 健太郎 (M2)	1'50"20 5位
110mH	久保田 太一 (体育4)	14"09 6位
走高跳	藤井 稜真 (体育4)	2m13 優勝
	柴田 涼太郎 (体育4)	2m05 6位
棒高跳	内山 朋也 (M2)	5m20 3位
三段跳	松田 基 (体育4)	15m13 7位
やり投	巖 優作 (体育2)	71m89 4位
	堤 洸太郎 (体育3)	71m64 5位

女子		
100m	三浦 由奈 (体育3)	11"75 5位
200m	景山 咲穂 (体育3)	24"66 4位
400m	森 椿音 (体育1)	57"28 6位
1500m	櫻原 沙紀 (体育3)	4'22"56 2位
3000mSC	本庄 悠紀奈 (体育4)	10'48"05 6位
走幅跳	高良 彩花 (体育4)	6m20 優勝
三段跳	高良 彩花 (体育4)	13m19 優勝
走高跳	八重樫 澄佳 (体育2)	1m70 2位
	小林 美月 (体育1)	1m65 6位
	宗澤ティファニー (体育2)	1m65 6位
棒高跳	塩崎 泉 (体育4)	3m60 8位

第56回織田記念国際陸上競技大会

女子3000mSC		
本庄 悠紀奈 (体育4)	10'31"59 8位	

第9回木南道孝記念陸上競技大会

男子		
110mH	久保田 太一 (体育4)	13"95 7位
棒高跳	古澤 一生 (体育2)	5m10 8位
女子		
1500m	櫻原 沙紀 (体育3)	4'17"07 4位
走幅跳	高良 彩花 (体育4)	6m28 2位
棒高跳	塩崎 泉 (体育4)	3m70 8位

※印の大会は2021年度開催の大会です
(所属・学年は当該大会出場時点)

最新の
試合結果



目指せ！クリケット日本代表 ～競技転向という新たな挑戦～

4月5日に「2022年クリケット女子日本代表強化選手団」が発表され、本学の大学院生2名が強化選手に選出されました。

●宗方眞子さん (大学院/体育学学位プログラム1年)

<スポーツ歴>

ソフトテニス (10歳～大学)、ソフトボール (大学)、
クリケット (大学4年8月～)

●吉岡美海さん (大学院/体育学学位プログラム1年)

<スポーツ歴>

水泳 (小1～6年)、ソフトテニス (小1～2年)、
ミニバスケットボール (小2～6年)、ソフトボール
(小5～現在)、クリケット (大学4年8月～)



クリケットの様子
(左から2番目：バッターの宗方さん、右：ランナーの吉岡さん)

昨年8月に筑波大学人間総合科学学術院スポーツ・オリエンティック学学位プログラム (TIAS) と日本クリケット協会が『女子日本代表選手発掘プロジェクト』としてトライアウトを開催。他競技のアスリートで、新しいことに挑戦したい選手をターゲットとし、2026年に愛知県で開催されるアジア競技大会の日本代表選手発掘を目的として参加者を募集しました。

宗方さんと吉岡さんはトライアウトに合格し、7カ月後の今年3月の代表強化選手団選考会の結果、見事選出されました。

本学にクリケット部は無く、二人とも大学生までは違うスポーツに取り組んでいました。大学4年の部活引退後、新たなフィールドで戦う二人の挑戦をご紹介します。

Q. トライアウトに挑戦しようと思った理由は？

吉岡 昨年7月にソフトボール部を引退し、その時には大学院に進学することが決まっており、進学にあたって新しいことを始めたいと思い挑戦しました。また、クリケットはソフトボールと似た競技であるとともに、海外では盛んに行われているため、興味がありました。



写真：女子ソフトボール部 (学群生) 時の吉岡さん (上) と宗方さん (下)

宗方 ちょうど部活を引退したタイミングだったので、新しいスポーツに挑戦したいと思ったからです。また、野球の原型のスポーツだということも知り、ソフトボールと似ている部分も多く、おもしろそうだなと思い参加しました。

Q. 実際にクリケットをやった感想は？

これまでの競技経験が活かされている点、苦勞している点があれば教えてください。

宗方 360度どこでも打つことができるルールがとてもおもしろいと思いました。
フィールディング (守備) は、ソフトボールと殆ど同じな

ので、ソフトボールでの経験が活かされています。バッティングでは、遠くに飛ばす技術はソフトボール、面を使って打つことやワンバウンドを打つことはソフトテニスというように、これまでの競技がどちらもかなり活かされていると感じます。

苦勞している点は、ボウラー (野球でいうピッチャー) は肘を伸ばしたまま投げなければならないところです。経験したことのない動きなので、つい肘が曲がってしまったり、うまくコントロールできなかったりと課題だらけです。また、素手でフィールディング (守備) をすることも、上手くキャッチしないと手が痛すぎるので大変です。グローブの有り難さを感じました。

吉岡 投げる、捕る、打つ、走るといった基本的な動作は似ているため、ソフトボールをしていたことは活かされています。しかし、クリケットは、バットが平たく打ち方がソフトボールとは異なっていたり、ボウラーは肘を曲げずに投げないといけなかったりと、ソフトボールの動きと似ているけど違う部分には少し苦勞しています。

Q. 今後の抱負—

吉岡 まだ、クリケット女子日本代表の強化選手に指定していただけただけなので、日本代表として世界で戦えるよう、努力していきたいです。

宗方 今後は、日本代表に選ばれるように頑張ります。また、筑波大学にクリケットのチームを作れたらいいなと思っています。



クリケットに挑む吉岡さん

今後のお二人の活躍にご期待ください！

*クリケットとは

楕円形の芝生のグラウンドで、1チーム11人で行うベースボール型の球技。英国・豪州・インドなどで盛ん。世界的には、競技人口3億人、愛好者10億人でサッカーに次ぐメジャーなスポーツ。



「TSA-ADアワード2021」を開催！

硬式庭球部・船水 梓緒里さんが“年間MVP学生アスリート”に選出

2022年3月26日に「TSA-ADアワード2021」を開催しました。TSA-ADアワードは筑波大学の運動部に所属し、運動部活動と学業の両方において優秀な成績を修めた学生アスリート・学生スタッフの功績を称え、本学のスポーツを支援する筑波大学スポーツアソシエーション(TSA)と筑波大学アスレチックデパートメント(AD)の共催で行われる表彰です。

TSA-ADアワード選考委員会の協議の結果、7名の学生に以下5つの賞を授与しました。(記載の学年と所属は、受賞時)



受賞者とプレゼンターの皆さん

ALL ACADEMICS AWARD

小松崎 結友(2年生・ダンス部)
清水 朱夏(3年生・ダンス部)
瀧川 莉奈(4年生・女子ハンドボール部)

スポーツ活動と並行して学業成績トップクラスの学生アスリート



当日の様子を
QRコードより
ご覧いただけます
リンク先: YouTube

精力善用AWARD

田頭 建佑(4年生・アメリカンフットボール部)

練習や普段の行動でチームメイトの見本となる行動を行い、目標を達成するためにできることを考え、練習外でも食事管理を徹底し、フィジカル、ボディバランスの強化を行ない、筑波大学アメリカンフットボール部の15年ぶりの一部昇格に大きく貢献しました。

師魂理才AWARD

信夫 咲希(4年生・女子ハンドボール部)

学生アスリートとしてあるべきリーダー像を追求し、主務としてチームマネジメントを行いました。積極的にコミュニケーションをとることで、チームメンバーの成長に貢献し、チームの課題であった部局を超えた情報共有に対して、一元化されたツールを活用することで解決に導きました。

自他共栄AWARD

菊池 月(4年生・体操部)

つくば市の体操領域における最大のイベント、つくば体操フェスティバルの副実行委員長として実質的な企画から運営を担当しました。コロナ禍に対応した開催方式や新たな企画を検討すると共に、他の実行委員のリーダーとして活躍しました。

STUDENT-ATHLETE OF THE YEAR (年間最優秀学生アスリート)

船水 梓緒里(3年生・硬式庭球部)

優秀な成績を収め、テニス部内においては最上級生として後輩の指導やミーティングにおいて中心的な役割を果たすなど部の運営に積極的に取り組みました。競技としてはパリオリンピック代表を目指し、積極的に海外遠征を行いました。

【ラグビー部】 OB・サポーターの想いを力に 日本一を目指す

2022年3月、コロナ禍に伴い活動を制限されてきた大学及び学生への支援として、ラグビー部OB会より、ラグビー場に多目的倉庫が寄附されました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年4月より本学の体育施設は使用制限があり、特に複数の運動部が共同で使用するウェイト場の閉鎖は長期に及んでいました。その影響で、パフォーマンス発揮および怪我予防のために身体づくりが重要である部員たちは近隣の有料ジムに通わざるを得なくなり、金銭的負担が発生。更に学内で練習試合ができないことによる移動費、アルバイトの制限等も重なり、コロナ禍での学生の金銭的負担は例年以上になっていました。

ラグビー部がOB会へ事情を相談したところ、OB会からの寄附と、OBのトッフリーガーが主体となって立ち上げたクラウドファンディングにより、学内外の多くのサポーターから熱い想いと共に多くの支援金が集まりました。それらを資金として、この度、ラグビー場脇に悪天候時の一時避難や救護、トレーニングなど様々な場面で活用できる多目的倉庫が設置され、本学に寄附されました。大学構内への設置ということで、資金面だけでなく複雑な認可手続きなど数々のハードルを乗り越え、発案から1年以上の時を経ての完成となりました。

今回の支援を受けて、嶋崎監督は、「普段はなかなか見えないOBの方が大きな力になってくれていることを学生が肌で実感したことがとても大きかった」と話します。「特にクラウドファンディングでは、多くのサポーターから一気に寄附が集まる様子を部員たちも目の当たりにし、感謝はもちろんのこと、物的な面だけでなく、目に見えないところで自分たちがこんなにも応援されていると感じたことが精神的な支えになりました。そして、OBがアクションしてくれて実現させた様子を見て、国立大で様々な制約もあり大変な環境の中でも、出来る限り自分たちで変えていこう！という気運がチーム内で高まったことが嬉しい変化でした」



＜内部にはサポーターの名前を刻印したプレートも＞

●感謝の気持ちを結果で恩返ししたいー

主将・木原優作さん(体育4)

「OBと多くのサポーター、ラグビー部、大学側など色々な方々の支援があつて完成したと聞き感謝してもしきれません。

ラグビーは生身の身体を武器に闘う競技で強い身体作りは不可欠なので、雨天時でもいつでもグランドの真横でトレーニングができ、とても助かっています。多くの方たちから支えられているということを部員全員が感じて使わせてもらっているので、感謝の気持ちを込めて日々練習し、結果で恩返ししていきたいです」

今季スローガン『パチパチ』を掲げ、サポーターの想いを力に変えて、初の日本一を目指すラグビー部の闘いから目が離せない。



新設された倉庫前で「パチパチ」ポーズ

【学生アスリートの活動を支援】ご寄附のお願い

コロナ禍の影響により、運動部の現場でも抗原検査キットの購入や感染対策に要する出費がかさむなど学生の負担が増加しています。未来を担う学生アスリートの活動を支援いただきたく、今年度も引き続き、特定基金によるご寄附をお願いしております。支援先は、TSA事業全体、各運動部(44団体)、TSAトレーナーチーム、箱根駅伝復活プロジェクトから選択いただけます。ご協力のほどお願い申し上げます。



ご寄附の方法

※筑波大学特定基金につきましてはTSAサイト <https://tsa.tsukuba.ac.jp/supporter/> をご覧ください。

●筑波大学スポーツサポーターの皆様(2022年1-3月にご寄附を頂いた皆様)

ご寄附いただいた皆様には、感謝の意を込めてご芳名を掲載しております。(ご希望者のみ)

大橋真様 渡邊徹様 脇田建介様 五藤周様 真田久様 野呂裕樹様 ヘリヤー万紀子様 宇佐美慧様
中川知秋様 宮崎洋介様 五十嵐直人様 下田百子様 一誠商事株式会社様 株式会社DEPLOY様(順不同)

